

<概要>

- 6 月 9 日から 14 日まで、カストロ大統領は、レイナ外相など特別代表団と共に中国を訪問した。12 日にはカストロ大統領らが習近平国家主席と首脳会談を行った。
- 7 月からホンジュラス・中国の自由貿易協定について交渉が開始される予定。レイナ外相は、ホンジュラス側はメルビン・レドンド経済開発次官を代表とする交渉団が中国を訪問し、自由貿易協定の交渉を開始すると述べた。
- アメリカ合衆国国土安全保障省（DHS）は在米ホンジュラス移民の TPS（一時的身分保障）の 18 カ月延長を発表した。
- ガブリエラ・カスティジャーノス国家汚職評議会（CNA）事務局長が、何者かにより死の脅迫を受けたため国外へ一時避難した。CNA は先月、カストロ政権のネポティズムについての報告書を発表していた。
- サビジョン治安大臣の解任と、グスタボ・サンチェス・ベラスケス国家警察長官が治安大臣に任命される旨の発表がされた。

<本文>

1 カストロ大統領訪中関連外交

（1）訪中発表

6 月 5 日、カストロ大統領は自身のツイッターで「2023 年 6 月 9 日から 14 日まで、習近平国家主席の招待により、レイナ外相など特別代表団と共に中国を訪問する。ホンジュラスの再興（Refundacion）のためには政治的、科学的、技術的、商業的、文化的に新たな領域が必要である」と発信した。

（2）在中国ホンジュラス大使館開設

6 月 10 日夜、ホンジュラス報道省は、「歴史的な出来事である！ エンリケ・レイナ・ホンジュラス外相は、シオマラ・カストロ大統領を代表して、現在実施されている国賓訪問の一環として、中華人民共和国のホンジュラス大使館を開設した」とツイート発信した。

（3）中国・ホンジュラス第 1 回ビジネスミーティング

6 月 11 日付「ラ・トリブナ」紙インターネット版は、大統領の国賓訪問に伴い、中国とホンジュラス間で初のハイレベル・ビジネスミーティングが北京で開催されたと報じた。メルビン・レドンド経済開発次官は、ホンジュラスのマクロ経済の安定性、貿易支援のためのインフラ及び投資を呼び込むための法的枠組みといったメリットを紹介したと述べた。同次官は、今回の協議でホンジュラス側は、同国の貿易政策及び同国への投資に有利な条件について提示する機会を得たと述べた。

同次官はまた、中国国際貿易促進委員会との間で覚書を締結する予定であると説明した。一方、レイナ外務大臣は、農産業、インフラ、エネルギー、住宅建設、製造業、ソフトウェア開発など、中国が誘致している投資分野の推進に自信があると述べた。

(4) 新開発銀行（BRICS バンク）加盟申請

6月12日付当地「ラ・トリブナ」紙は、上海を訪問中のカストロ大統領らが、ルセフ新開発銀行（NDB：通称 BRICS バンク）総裁を訪問し、ホンジュラスの加盟を要請したと報じた。会談の前にカストロ大統領は「我々は、国家が発展するメカニズムを見つけるためだけでなく、国民にこれまでの生活の質とは異なるものを提供することを可能にする恒久的な同盟者を見つける、あらゆる可能性があると考えている」と述べた。

(5) 習近平国家主席との首脳会談

6月12日、ホンジュラス大統領府は、現在訪中しているカストロ大統領らが同日、習近平国家主席と首脳会談を行ったことを踏まえプレスリリースを発表した。その中で「ホンジュラスの大統領として、習近平国家主席が指導する一つの中国を認める。北京にて、中国の同僚たる習近平国家主席と会談し、インフラ、道路、港湾、空港、情報通信、技術、科学、エネルギー、食料安全保障のための融資と共に、共同投資プロジェクトを計画し、実行する」などが表明された。

(6) 中国との自由貿易協定交渉の開始

6月13日付、当地ラ・トリブナ紙は、レイナ外相の話として、7月からホンジュラス・中国の自由貿易協定について交渉が開始される旨報じた。外相は、7月からホンジュラス側はメルビン・レドンド経済開発次官を代表とする交渉団が中国を訪問し、自由貿易協定の交渉を開始すると述べた。レドンド次官は、現在、5月30日から訪中しているホンジュラス・ビジネス団に同行している。

2 その他外交「TPS の延長」

6月13日、国内メディアは、ガルシア外務国際協力次官の話として、在米ホンジュラス移民のTPS（一時的身分保障）が18カ月延長されたことを報じた。アメリカ合衆国国土安全保障省（DHS）の今回の決定により、ホンジュラスの他、エルサルバドル、ネパール、ニカラグアのTPS保持者の米国での滞在が延長されることとなった。DHSのウェブサイトでは、既存のTPS保持者でステータス延長を希望する移民は、2023年11月6日から2024年1月5日までの間の再登録期間中に更新する必要があるとしている。

3 内政・経済

(1) カスティージャ港の開発

6月7日、当国北東部のカリブ海岸にあるカスティージャ港支配人の話として、ホンジュラス側が中国に提案するプロジェクトの一つとして、同港開発に中国側も関心を示していると述べた。同

支配人は「この地域には近代化された港が必要である。ホンジュラス工業会（ANDI）や地域の民間企業会と会合を持ってきた。この港から多くの製品が輸出出来るようになり、またクルーザーも寄港できる。すでに中国は同港への融資に関心を持っており、カストロ大統領やエクトル・セラヤ大統領私設秘書官と会合を持っている」と述べた。プロジェクトは3段階に分かれ、推定費用は1億5,000万ドルになり、第1段階として、2年間で、ポスト・パナマックス級の船舶が寄港可能に計225m 拡張（延伸）と15mの拡幅、必要の応じた浚渫など棧橋の改善を予定している。

（2）カスティジャーノス国家汚職評議会事務局長の国外避難

6月19日付国内メディアは、ガブリエラ・カスティジャーノス国家汚職評議会（CNA）事務局長が、何者かにより死の脅迫を受けたため国外へ一時避難した旨報じた。CNAによると、数日前にカスティジャーノス事務局長が死の脅迫を受けたため国家人権委員会（CONADEH）に申し立てを行った。CONADEHも同女史が危険な状況にあるとしてこれを受理し、申立人の声明を確保するためのできる限りの措置が講じられることを明らかにした。同時にCNAの治安対策チームは同女史が家族と共にできる限り早急に出国するよう勧告していたが、もともとワシントンでのOAS総会に参加のため訪米予定であったため予定を早めて出国した。

（3）中国への融資申請

6月21日付国内主要各紙は、相次いで当国閣僚が中国へ融資の申請をした旨報じた。まず、メデューナ環境大臣の話として、ホンジュラス政府が総額22億ドルの小規模水力発電ダム建設（120か所）について融資の申請を行ったと報じた。あくまでも中国側に120か所のリストを提出して打診したのみとしながらも、他にも電力、道路、港湾能力などへの融資の可能性についても打診していることを明らかにした。また、ロドリゲス・エネルギー省次官の話として、ホンジュラス政府が総額40億ドルにのぼる、電力セクター（発電、送電、配電各部門）の改革のための融資を要請したことを明らかにした。

（4）閣僚の交代

20日、イビス・アルバラード大統領府報道官は、サビジョン治安大臣の解任と後任としてグスタボ・サンチェス・ベラスケス国家警察長官が治安大臣に任命されたと発表した。国家警察長官の後任にはフアン・マヌエル・アギラール副長官が任命される見込み。同報道官は、サビジョン前治安大臣が在外公館へ転出予定と発表したが、各紙は、同日タマラ女性刑務所で発生した41人が死亡した囚人同士の抗争への対策不備などで事実上の更迭と報じている。

3 医療保健関係

(1) 6月の新型コロナウイルス感染状況（6月26日現在）

ア 平均新規感染者数：10.8人/日（直近一か月比+7.8人/日）

イ 累計感染者数：473,004人（直近一か月比+303人）

ウ 平均新規死亡者数：1人/日以下（直近一か月比±0人/日）

エ 累計死亡者数：11,120人（直近一か月比+4人）

1日の新規感染者数の平均は、昨月は1日約3人だったのが、今月は約10人と、約8人増えた。なお、ゲノム配列を精査したところ、新たな変異株であるXBB.1.16（arcturus）は、国内のウイルスからは検出されなかった。

(2) ワクチン接種、受領状況

6月は、ワクチン接種、受領に関する情報に接しなかった。

(3) その他

ア ホンジュラスでは、2013年から2022年までの10年間で、3,751人が自殺している。すなわち、ほぼ一日に1人の割合であるが、年齢層別に見ると29%が二十歳代、19%が十歳代であり、二日に一人の割合で11歳～30歳のホンジュラス人が自殺している事になる。（当館注：2022年に関して言えば、人口10万人あたりの自殺者は、日本では約17人であるのに対して、ホンジュラスでは約4人であり、日本の約四分の一となっている。）

イ 過去8年間で、28人が公立マリア子ども病院で腎移植を受けた。患者の大多数は10代だった。

ウ 狂犬病、サル痘、鳥インフルエンザなどの感染症に関して、特記すべき情報に接しなかった。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023 年		
	5 月	4 月	3 月
インフレ率（前年同月比）	6.58	7.44	9.80
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	—	8018.5	8059.4
外国からの送金（百万ドル）	—	—	2066.3
為替レート（対ドル月平均）	24.68	24.69	24.70

（出典：ホンジュラス中央銀行） ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）